

法人春日部

1月号

2024年(令和6年)1月11日発行

No.197



幸手支部 フラワーカーペット



公益社団法人 春日部法人会

〒344-0062 春日部市粕壁東二丁目2番29号

TEL.048(761)3551 FAX.048(752)8244

春日部法人会HPは毎週金曜日《更新》

kasukabehojinkai.jp

春日部法人会

検索



新春のご挨拶

公益社団法人春日部法人会

会長 田中 彦八



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和5年は会員の皆様のご協力を頂きながら牛歩のごとくではありますが、法人会設立の主旨に沿った運動ができた、総括をさせて頂きたいと思います。

直近の3年間は組織改革にまい進した年でありましたが、それもほぼ定着し、円滑な組織運営の中に、租税への理解を深める事業が多く実施できましたことに深く感謝申し上げます。

そして、又、e-Taxやインボイス制度のご理解を得るための事業も春日部税務署や租税関連団体との協力関係を深めながら実施できました。これも大きな成果ではないかと思っております。特に春日部税務署と春日部法人会の相互信頼に基づく協力関係は着実に発展しております。その結果といたしまして、春日部税務署から春日部法人会へ感謝状を頂くことができました。法人会への感謝状は稀な事と聞き及んでおりますが、会員の皆様のご理解ご支援の賜物と思っております。

会員の皆様ご存じの通り、公益社団法人春日部法人会は6市2町にわたる広域の集合体であり、4,000名の会員が参加する団体であります。11ある各支部は、その地域特性や伝統を生かし市民に直接触れ合い、急速に変化する税に関する啓発活動や青少年の納税意識の向上に力を注いで頂いております。また、令和6年度法人会は、今まで注力してきた組織改革、経理の明確化、無駄の洗い出し等をさらに進め、会員の皆様に有益な情報をいち早く提供できる仕組みと研修会等実務に即した取り組みを充実させていきたいと考えております。

税に関する啓発活動は当然ですが、「会員の皆様のお役にたてる法人会」とは何か？ 役員一同、常に真剣に考え変わろうと一生懸命考えております。

このためには、是非会員の皆様のご意見、ご要望をお寄せいただきたいと思います。

変わっていくことを躊躇している法人会は必ず、会員からの信頼と支持を失います。

本年度は会員拡大へのご協力をお願いしたいと考えております。

会員の数が全国的に減少傾向にあります、春日部法人会も同じ悩みを抱えております。

会員の減少の責任は、コロナ等の影響はあったにせよ、その存在意義や有効性を会員の皆様にお示しできなかった、私を含め役員全体の責と考えております。

法人会は、会員の皆様の健全な税意識の向上と、企業の発展にお役にたきたいとの思いを胸に活動している団体です。

法人会は会員数や大きさを競う組織ではありませんが、新しい感性と次世代の租税知識の普及啓発活動の担い手を広く求めています。

女性の感性から税を考え、笑顔で青少年の租税教育の第一線に立つ女性部会。新しい時代をより良く生き抜いて行くために、租税教育や健康経営について考える青年部会。

法人会には多様な運動体があり、連携を取りつつも独自の発想と価値観で活動を続けております。

会員の入会紹介を頂けましたら、そのご苦勞に報いるべく報奨制度やご入会いただいた会員の皆様には各種保険の優遇制度もございます。

どうか、令和6年度も引き続きご協力いただけますよう心からお願いを申し上げますと共に、会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げ年頭のご挨拶に代えさせていただきます。



CONTENTS

新年のごあいさつ	2～3
税を考える週間特集	4～5
女性部会健康セミナー・年末調整説明会を開催	6
令和6年度税制改正提言活動	7
中学生の「税についての作文」入賞者	8
「税についての作文」受賞作品	9～15
税務署だより	16～17

第9回絵はがきコンクール入賞作品	18～19
第13回会員交流ゴルフ大会を開催	20
支部だより 春日部支部	20
想うがまま 宮代支部・蓮田支部	21
新入会員ご紹介／県税からのお知らせ	22
経営者のリスク管理～感染症とリスクマネジメント～	23
税金教室とN響コンサートを11か所で開催	24



新年のご挨拶

春日部税務署長
田中 厚

令和6年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人春日部法人会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、田中会長をはじめ役員並びに会員の皆様には、税務行政全般にわたり、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、数年続いた新型コロナウイルスの影響も次第に落ち着きを見せ、令和5年5月8日に感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行し、行動制限がなくなりました。ワクチンなどの対策も充実しており、新型コロナウイルスに対するリスクが緩和された状況となりました。

我が国の経済については、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されております。

一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがする状況となっております。

また、スポーツ界では、侍ジャパンによるWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で3回目の優勝、大谷翔平選手がメジャーリーグで2度目の満票でのMVP受賞、「俺は最強」を貫き通した元車いすテニス選手の国枝慎吾さんの国民栄誉賞受賞など、日本人に勇気と自信をもたらしてくれたニュースも多くありました。

国税関係では、令和5年10月1日から消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されました。皆様には、制度周知に向けた説明会を開催されたほか、租税教育の取り組みとして租税教室への講師派遣、税に関する絵はがきコンクールの実施など、税に関する周知啓発活動に積極的に取り組んでいただきました。特に、「租税教室+夢いっぱいコンサート」は、子どもたちに経験や体

験の場をと小中学校で開催され、私も11月に参加させていただきましたが、工夫を凝らした税金クイズとNHK交響楽団のトップメンバーによる弦楽四重奏は、とても素晴らしく感動いたしました。

このような充実した事業活動は、田中会長をはじめ役員並びに会員の皆様のご尽力の賜物であり、令和5年度税務署長感謝状を贈呈させていただいたところでございます。今後とも、税務の良き理解者としてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年も改まり、令和5年分の所得税・消費税等の確定申告の時期を迎えます。春日部税務署では、マイナンバーカードを使用した自宅からのe-Tax・スマホ申告、简单便利なキャッシュレス納付の推進に取り組んでおります。e-Taxによる申告は、混雑している確定申告会場に出向くことなく、ご自宅からスマホやパソコンで24時間利用できます。是非、ご自宅からのe-Tax・スマホ申告、キャッシュレス納付の利用について、会員企業の役員の皆様、従業員やそのご家族へ周知していただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

本年は甲辰（きのえたつ）年です。辰は龍のことであり、干支の中でも唯一空想上の生き物です。水や海の神として祀られ、竜巻や雷などの自然現象を起こす躍動を象徴していることから、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」、「これまで努力してきたことが実りのときを迎え、大きな成果が得られる」といった縁起のよい年とも言われています。

これまで皆様と培ってまいりました協調関係を発展させるべく、私どもも一層努力してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人春日部法人会の益々のご発展と会員企業のご繁栄、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

< 幸手支部 フラワーカーペット >

令和5年11月25、26日に、幸手駅で幸手市国際交流協会と市の共催により「フラワーカーペット」事業を開催しました。

カーネーション1万本分の花びらを敷き詰めて、国際交流協会会員と交流しながら、幸手市のシンボルである権現堂桜堤をイメージした花絵を、子どもからお年寄りまで、また、さまざまな国籍の方と一緒に、総勢60人で一つのものを作り上げました。

その出来栄は、幸手駅の改札に向かう人・改札から出てくる人も思わず足を止めて見入っていたほどの完成度です。

国際交流協会会員が願いを込めて制作したメッセージボードには、世界の平和を祈るメッセージが数多くありました。





「税を考える週間」 書道パフォーマンス

令和5年11月11日(土)～17日(金)は、税を考える週間です。一昨年まではコロナ禍により、公開講座や関連事業のうちイオンモール春日部への作品展示と啓発のぼりの掲出を行ってきました。

今年は、昨年に引き続き、納税表彰式、公開税務講演会も再開されることとなり、春日部税務署管内税務行政協力会(藤の和会)では昨年からの新しい試みとして、「税を考える週間」のオープニングセレモニーにイオンモール春日部で、埼玉県立宮代高等学校書道部による書道パフォーマンスを披露していただきました。

書道パフォーマンスに先立ち、春日部税務署管内の児童、生徒の皆さんによる税の作品の合同表彰式が開催されました。



税に関する絵はがきコンクール、税についての作文、税の標語などの優秀作品に対する表彰式をイオンモール春日部の「藤の広場」で開催しました。



税についての作文の春日部法人会長賞を受賞した、税は「必要」(法人春日部11月号に掲載)を著した春日部市立飯沼中学校3年の堀山千紗さんにも田中法人会長から法人会長賞が授与されました。



合同表彰式に続いて、県立宮代高等学校書道部の皆さんにより「絆 繋げ進もう 社会に寄り添い支える税 君とともに生きるため 私たちが未来を切り拓く」と書道パフォーマンスにより見事に書き上げてくれました。ご来場いただいた皆様から盛大な拍手が送られました。



児童・生徒の作品を掲示

イオンモール春日部

税を考える期間中、イオンモール春日部に、中学生・小学生の「税の作文」「税に関する絵はがき」「税の標語」入選作品や税の啓発資料などを春日部税務署の皆さんと一緒に掲示しました。多くの方々に足を止めていただき、作品をご覧いただきました。税を考える週間の啓発のぼりも併せて掲出しました。



※「啓発のぼり」は、春日部法人会の独自活動として、国税当局の許可をいただいて作成したものです。税を考える週間の前後に開催される事業の会場に掲げるほか、期間中は法人会事務局などに掲出しました。



令和5年度 納税表彰式が挙行了されました



「税を考える週間」に3年前まで実施されていた春日部税務署の税務署長納税表彰式が11月14日(火)に、春日部市民文化会館において、昨年に引き続き、挙行されました。管内の関係機関・協力団体・市町税務行政関係者などが出席し、厳粛なうちに春日部税務署長表彰、租税教育推進校署長感謝状の贈呈が執り行われました。今年度の署長表彰の受賞者は3名で、当法人会関係は、榎本英明副会長(菖蒲支部)が受表彰されました。このほか、租税教育推進校等税務署長感謝状を春日部法人会が受表彰し、田中雪心副会長が感謝状を受領しました。



「税を考える週間公開講座」を昨年に引き続き開催

春日部税務署による納税表彰式に続いて、春日部法人会が主催し、春日部税務署管内税務行政協力会が共催となる公開講座が開催されました。

田中厚春日部税務署長を講師にお招きし、「税金よもやま話」(公平な課税と徴収の実現)と題した記念講演をい

たきました。

田中署長は札幌国税局への派遣経験をもとに外国人による北海道の土地取得と外国での当該土地の転売に際しての課税等について大変興味深いお話を伺うことができました。



女性部会 健康セミナー

テーマ
「個性心理学を学んで
「心」の健康を手に入れよう」



個性心理学研究所 名古屋本部長 いむらきよし氏(猪村工業株式会社 代表取締役社長)をお招きして11月9日に行われました。

生年月日から60分類のキャラクターに分け、そのキャラクターの特性を基に、自分の性格、周りの人の性格を知ること、よりよい人との付き合い方を、講師の楽しいお話で学ぶことができました。

年末調整説明会を開催

令和5年11月15日(水) 春日部市民文化会館大会議室

講師：関東信越税理士会春日部支部所属 成田志織先生

令和3年度から対面での説明会が開催されなくなり、年末調整説明会を行ってほしいという皆さんからの要望にお応えした形で説明会を開催しました。

当日は、11月号の広報誌に同封した「年末調整実務のポイント」をテキストに、成田先生が1から講義用に作成されたスライドで行われました。成田先生、ありがとうございました。



令和6年度 税制改正提言活動

提言先

全国法人会総連合・・・財務省、国税庁、
中小企業庁、各政党
埼玉県法人会連合会・・・埼玉県
春日部法人会・・・地元国会議員
各支部・・・地元自治体（市長・町長）

法人会では、公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて提言を行っています。

経済活性化と中小企業対策では、物価の高止まりが大きな重荷となって、健全な経営に取り組んでいる企業が立ち行かなくならないよう実効性のある支援を求め、また、地方税においては固定資産税、都市計画税の抜本的見直しを行うことなどを提言しています。

※提言内容の概要は11月発行の当会広報誌第196号に掲載しました。

令和6年度 税制改正スローガン

- ◇財政健全化は国家的課題。負担を先送りせず現世代で解決を！
- ◇企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- ◇経済再生には中小企業の力が不可欠。健全な経営に取り組む企業に実効性ある支援を！
- ◇中小企業は地域経済と雇用の担い手。本格的な事業承継税制の創設を！



土屋品子衆議院議員へ

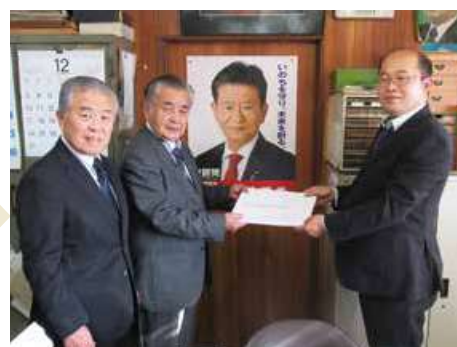
令和5年12月12日（火）

春日部市の土屋品子衆議院議員の事務所を訪問し、高橋昌志秘書へ田中彦八会長と弓木裕一税制・研修委員長から提言書をお渡ししました。

三ツ林裕巳衆議院議員へ

令和5年12月12日（火）

幸手市の三ツ林裕巳衆議院議員の事務所を訪問し、佐藤亮平秘書へ田中彦八会長と弓木裕一税制・研修委員長から提言書をお渡ししました。



春日部支部



染谷重明春日部支部長と田口義明副支部長から岩谷一弘春日部市長へ

令和5年11月28日（火）

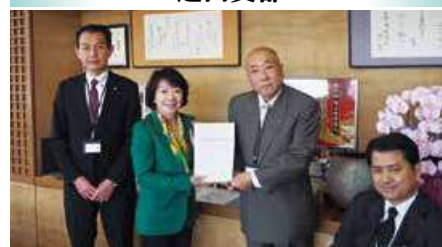
久喜・菖蒲・栗橋・鷲宮支部



富田久喜支部長、榎本菖蒲支部長、小川栗橋支部長から梅田修一久喜市長へ

令和5年12月6日（水）

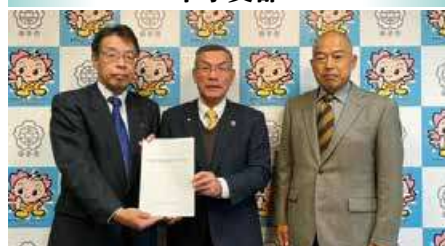
蓮田支部



田中雪心蓮田支部長から山口京子蓮田市長へ

令和5年11月27日（月）

幸手支部



小林達郎幸手支部長と吉田光宏副支部長から木村純夫幸手市長へ

令和5年11月27日（月）

宮代支部



深井義秋宮代支部長から新井康之宮代町長へ

令和5年11月29日（水）

白岡支部



井上堅一白岡支部長から藤井栄一郎白岡市長へ

令和5年12月12日（火）

杉戸支部



中川定雄杉戸支部長から窪田裕之杉戸町長へ

令和5年11月28日（火）

岩槻支部

さいたま市への要望活動は浦和法人会が代表して行いました。

全法連では、「税制改正に関する提言」を取りまとめるにあたり、毎年、全国の法人会税制委員、役員を中心に税制アンケートを実施しています。さらに、埼玉県法人会連合会では、全会員を対象とした税制アンケートを毎年3月頃、お願いしています。その結果は、本提言に生かされます。ご協力をお願いします。

春日部法人会では、中学生の時期に税について考えることは大変意義のあるものと捉え、「税についての作文」事業（主催：国税庁・納税貯蓄組合連合会、後援：全国法人会総連合）の実施に積極的に協力してきました。

本年度は、春日部税務署管内の51校から、36校、3,118編の作品の応募があり、先ごろ審査が完了しました。春日部税務署管内の主な入賞者は下記の通りです。

優秀作品は、順次広報誌に掲載を予定しています。中学生の税についての考えや思いをご一読ください。

春日部法人会では、春日部法人会会長賞と募集にあたりご協力いただいた中学校に対して、法人会支部長賞を贈っています。（11月発行 法人春日部第196号既報）

令和5年度「税についての作文」 春日部法人会会長賞を授与！

税についての作文の地区審査会の結果、令和5年度の税についての作文の春日部法人会会長賞を受賞した、税は「必要」（法人春日部11月号に掲載）を著した春日部市立飯沼中学校3年の堀山千紗さんにイオンモール春日部の「藤の広場」で田中法人会会長から法人会会長賞が授与されました。



令和5年度 中学生の「税についての作文」入賞者一覧

（敬称略）

賞	題 名	学 校 名	学年	氏 名
全国納税貯蓄組合連合会長賞	税金は命の恩人	春日部共栄中学校	3年	清水 結実
埼玉県税務連絡協議会長賞	納税が繋げる命	春日部市立大増中学校	3年	塚田萌百花
埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞	日常から見えてくる税金	久喜市立鷺宮東中学校	3年	長谷川有楽
	税金と私たちの関わり	宮代町立前原中学校	1年	川島 実生
	視野を広げると	春日部市立豊春中学校	3年	宇賀神細波
	僕を支えてくれるもの	春日部市立武里中学校	3年	天野 馨優
	一人千円で未来へ投資	春日部共栄中学校	3年	宮田 夏帆
	社会は回る―税の環による助け合い	久喜市立栗橋西中学校	3年	後藤 陽希
	私は今日も税と共に。	久喜市立鷺宮東中学校	3年	石川 春樹
春日部税務署長賞	清潔な街のための大切な税金	春日部市立江戸川小中学校	9年	小笠原芽郁
埼玉県春日部県税事務所長賞	私と税	久喜市立鷺宮東中学校	3年	栗城 花凜
埼玉県租税教育推進協議会長賞	未来へと繋げる税金の使い方	春日部市立江戸川小中学校	9年	山田 歩実
関東信越税理士会春日部支部長賞	税で成り立つ約束の場所	春日部市立春日部南中学校	3年	辻上さくら
公益社団法人春日部法人会会長賞	税は「必要」	春日部市立飯沼中学校	3年	堀山 千紗
春日部間税会長賞	世界のだれかのために	白岡市立南中学校	3年	鈴木 優乃
春日部税務署管内 租税教育推進協議会長賞	作り、繋げて	春日部市立春日部中学校	3年	庭山 琴海
春日部市長賞	税金によってデザインされる社会	春日部市立武里中学校	3年	篠崎 想空
久喜市長賞	私たちの税	久喜市立栗橋西中学校	3年	嶋田 美寿
蓮田市長賞	つながう、次世代へ	蓮田市立黒浜西中学校	2年	藤田 匠
幸手市長賞	税金は皆のために	幸手市立幸手中学校	3年	榎本 理杏
白岡市長賞	納税の大切さ	白岡市立南中学校	3年	細井 淳帆
宮代町長賞	身近な学びを作る税金	宮代町立前原中学校	3年	名取 真奈
春日部市教育長賞	税を考え、願っていく	春日部市立豊春中学校	3年	坪山 千浩
久喜市教育長賞	保護動物と税金	久喜市立太東中学校	3年	鈴木 萌夏
蓮田市教育長賞	「今、私達ができること」	蓮田市立黒浜中学校	3年	萩原 綾音
幸手市教育長賞	母を救った税金	幸手市立幸手中学校	3年	宮川 啓夢
白岡市教育長賞	未来への責任	白岡市立菁莪中学校	3年	齊藤愛梨杏
宮代町教育長賞	年金は未来への架け橋	宮代町立前原中学校	2年	深澤 瑞葵
春日部税務署管内 納税貯蓄組合連合会長賞	「国防」	春日部市立春日部中学校	3年	石塚 未唯
	人をつなぐ贈り物	春日部市立飯沼中学校	3年	穂満 光莉
	私達の問題	久喜市立太東中学校	3年	千葉菜々保
	税を納めること	久喜市立久喜中学校	3年	伊藤 一護
	私が思う、「税金の使い道」	久喜市立鷺宮東中学校	3年	
	社会保障から考える税の大切さ	蓮田市立黒浜中学校	3年	池田 優子
	大人の信頼関係は「イコール」を使って表したい	幸手市立西中学校	3年	小島 聖実
	見えないところで税に支えられている	白岡市立白岡中学校	3年	佐々木柚沙
	増え続ける税金について	宮代町立百間中学校	3年	原島 美咲
	なくてはならない大切な税金	杉戸町立東中学校	3年	村上 南

税金は命の恩人

春日部共栄中学校 3年
清水 結実さん

世界一の長寿国である日本。

日本人の寿命が延びた理由の一つに医療技術の進歩や、医療制度が大きく関係している。日本の医療保険制度は、誰でも平等に医療を受けることができる優れた特徴があり、この制度が長寿に貢献していることに違いない。

制度の財源は「税金」という仕組みだ。もし税金で賄うことができず、全てが有料だとしたら、医療を受けることを諦めてしまう人がいるかもしれない。

私の祖母は、この制度に助けられた一人である。

心臓の悪い祖母は度々発作を起こし、一時的に意識を失ってしまうこともあった。薬の治療が難しくなり、放っておけば死んでしまうかもしれない。医師から提案されたのはペースメーカーを入れる手術だ。ペースメーカーとは、5百円位の精密機械を鎖骨の下に埋め込むのだ。それを行えば心臓の働きを助けてくれて発作はなくなる。

祖母は仕事で忙しい母に代わり、家事や私の面倒を見てくれた。働き者で料理の上手な祖母が台所に立つことさえやっとなっていた。

人の噂で、ペースメーカーの手術には、一度に莫大なお金がかかるらしいと、不安になる情報ばかりが祖母の耳に入っていたのだ。手術とペースメーカーの高額さを心配してか「私はもう80過ぎたしね、みんなに迷惑かけても…」と静かに笑った。

次の診察で、ペースメーカーの手術について話を聞いた。

現在の医療保険制度では、高額な医療費がかかる際、高額医療費制度があり支払いの負担が軽減されているようだ。これには「税金」が使われており、患者側に大きな支払いが行かないようになっている。説明を聞いた祖母は、「あと何年生きられるか分からないけど、もう少しみんなといたい」と言い手術を決意した。

命は平等である。もし、この制度が無く、高額だからと諦め、消えていった命があったとしたらとても悲しくなる。

祖母は3年後亡くなってしまったが、日本の高度な医療と、高額医療制度のおかげでペースメーカーを入れたことにより、私の中学受験を見守ってくれ合格を喜ぶ時間を共にできたことに感謝したい。

医療費は治療や手術を受ける人たちにとっての強みである。高額な医療費だからとか、年だからではなく、医療費を使い今後どう生きていくかを考え、自分の大切な人と少しでも長く過ごせるよう助け合いの「税金」を使ってほしい。

税金は、安心と笑顔を取り戻す私たちの強い味方と言うことをたくさんの人に知ってほしい。近い将来、今度は私たちが担い手となり、知らない誰かを支えていくであろう。



埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

日常から見えてくる税金

久喜市立鷺宮東中学校 3年
長谷川 有楽さん

今日もいつもと変わらない私の一日がはじまる。見なれた街の風景に行き慣れた学校、見ているものも行く場所も毎日が同じようで変化はないが、そんな何気ない日常が私は好きだ。学校へ登校する時に目にする緑が豊かな公園、つい走りたくなってしまう広い道路に何度押したか分からない、押しボタンのある横断歩道、毎日渡る歩道橋が好きだ。この街の道を進み、向かう先の学校は勉強や部活動に思いきり励むことのできる場所であり、当たり前のように挨拶を交わす友達ができた私にとって特別な場所でもある。学校で過ごす日々の時間が経過していくのはとても早く感じる毎日だ。その時間の中で、何をするのかしないのか、一日の大まかな予定はあるけれど、訪れてくる出来事の全てが予定どおりではないだろう。思いもしないことが起ころうと何一つ不自由なく生活できることが嬉しい。毎日が変化しない学校の環境があるからこそ、経験できる出来事の全てが色鮮やかな私の日常へ変化していくのだと思う。私の通う学校は誰もがする経験を成長へと繋ぎ、皆の日常を支えてくれる素敵で心強い場所だ。

ところで、見なれた街の風景に、毎日同じ環境がある学校はなぜ同じ状態を保つことができているのだろうか。目にするものに変化がないことは安心できて、落ち着くので細かい事には気がかけたことも考えたこともない。しかし、街にある公園の植物が豊かに育めていることや安全性に欠けることない道路と横断歩道などの公共施設を毎日、誰もが安全に使えている

のは整備に関わる人や整備にかかる多額な費用が必要とされてくるのではないかと疑問を持った。一体、どのようにして街の公共施設を不便のない安全な状態を保ち続けているのか。

調べてみると、私達の生活に大きく関わりがあるのは「税金」だそう。一番身近にあるのは買い物をした際に納める消費税ではないか。消費税は飲食料品には8パーセントが日用品、また外食などには10パーセントがかかる。これらの使い道は医療費や介護、少子化対策に使われているようだ。一番身近な消費税から私達の生活を大きく支えられていることがよく分かる。しかし、私達を支えている税金は他にもある。所得税に法人税など約50種類もの税金が日本にあるそうで、公共施設、公共サービスが安全に誰もが利用できるのは同じ財やサービスを複数の消費者が同時に消費できる非競合性と非排除性の二つの性質を持つ公共財のおかげだそう。私の好きな街の風景が変化せず環境を維持し、何一つ不自由ない学校で過ごせる日々が続く私の日常に改めて、嬉しさが生まれた。

「税金」は常に私達の身近で支えられている。税金がなくなるとは今の日常が成り立っていないのかもしれない。変化がないと思う毎日だとしても今があるのは税金のおかげなのだと少しでも心に止めておいてほしい。

税金と私たちの関わり

宮代町立前原中学校 1年
川島 実生さん

税金が人間の自立の支援に役立っていると思うことが二つある。

一つ目は、祖父が社会保障の仕事をしていたとき、生活保護を支給したり、一人親家庭への支援などをしていたりした。生活保護とは障害者や病気などで働けない人に、生活費を支給する制度だ。税金を正確に支払わないといけなかった。そのとき出会った家庭の中に塾に行けなかったり、家族が勉強を教えることができなかったりしたので、学力がつかず高校進学をあきらめていた子供たちがいた。そこで夜間中学校を作って、無料で学習できるようにした。国が税金で生活保護を支給するけれど、税金だけで生活するのではなく、自立していけるようにしていった。私は、祖父が重要な仕事をしていたことに驚いた。そして、税金に関わる仕事をしていたことも知った。また、税金(生活保護)で生活はできるようにはなるけれど、その子が大人になったときに働いていけるようにするために、子どもたちに勉強を教えていたのだなと思い、カッコいいなと感じた。しかし、生活保護というのは、実際にうそをついてだます人もいるため、その家庭が本当に障害者や病気をもって、お金が必要なのかを判断するととても責任重大でもある。そのため私は祖父の仕事を誇りに思った。

二つ目は、特別支援学校での話だ。私は今年、宮代特別支援学校に行き交流する機会をもった。いろいろな障害の子どもたちと遊んだり、話したりして、楽しい時間を過ごした。そこ

にあったのは、座布団のついた板にローラーがついている椅子や手と足が暴れないようにする椅子などさまざまだった。ほとんどの子はその子の特性にあった椅子に座っていたのだ。それらの椅子も税金でこう入されていると思い、社会保障は一人一人に応じた物にまで、浸透していると分かった。どの子どもたちも笑顔でニコニコしていて、先生方が子どもたちに優しく接しているのが印象的だった。私は、その子たちとのふれあいの中で、多くのことを学んだ。そして、それを少しでも支援できるようにと工夫したものに税金が使われていて、私もその子どもたちの支えになっていることを知り、うれしくなった。

私たちの身の回りには多くの税金が使われている。税率が上がった理由の第一は高齢化による社会保障の費用が増え続けていることである。そして次世代に引き継いでいくには安定的な財源の確保が必要になる。私は今まであまり考えたことのない税金について考え、私たちの税金が人々の自立を支援するためにも、使われていたことを知り、より税金と私との関係が近く感じるようになった。



視野を広げると

春日部市立豊春中学校 3年
宇賀神 細波さん

「ガソリン高っ。」レギュラーガソリンの価格が13週連続値上げして16日の全国の平均価格が180.9円(1Lあたり)と15年ぶりの高値水準となった。高速道路のサービスエリアやパーキングエリアでは200円を超えたところも見られた。ガソリンは消費税とガソリン税で約45%が税金。その上まだまだ増税される見込み…。

テレビをつけると家族が釘付けになった。「物価上昇が続く中、増税される」と聞けば誰もが不満を抱く。父が運転する車に乗って買い物に行くとガソリンスタンドを見つけては「高い」というのが口癖となる。行きつけのスーパーで商品を手にとるとまた「高い」とつぶやく。税金がなかったらもう少し安いんだろうなとため息をつく程度だった。

今年の5月、全治3ヶ月の怪我をした。笑う余裕がないくらい今までにない激痛が走った。時間が経っても全く引かない痛みと腫れにただ泣くことしかできなかった。なぜなら、体育祭と部活動の大会前に怪我をしたからだ。病院に行くと「左足首靭帯損傷」と告げられた。そして軽視できないくらい金額が請求された。

「もう怪我しないだね。」

母は私にそう言った。誰よりも練習したのに努力は報われないうし、高額な医療費負担までのしかかるこの状況。悔しくて泣く日々を過ごした。しかし、暗かった心の中に一筋の光が差し込んだ。

それは、学校内での怪我の治療費を請求することができる日本スポーツ振興センター。国の補助金と学校(園)の設置者加えて保護者が負担する掛金。いわば税に支えられている制度だ。私は初めて税金があつて良かったと思えた。今まで税金がなくなればいいのと思っていた考えが変わった。

怪我をして学んだことはとても身近で税金に助けられていること。日々悩まされる「税金」それはどこかで誰かの支えになっている。一面だけを見て判断すると税金のマイナス要素は次々に出てくる。しかし視野を広げてみると、車が行き交う道路、友達とふれあい学ぶ学校、私たちが安心した生活を送れるように活動する消防や警察、家庭や会社などから出るゴミの回収と処理など全て税金が使われている。また、医療、年金、介護、福祉の社会保障に一番多く使われている税金。ちょっと立ち止まっていろいろな面から見ると沢山のメリットに出会えることができる。その沢山のメリットに出会えることができたのは汗水流して働いて税金を納めてくれる人が沢山いるからだと思う。私は普段沢山の人の支えられているので、大人になったら支える側になりたい。そのために今を一生懸命生きて社会に貢献したいと思う。よりよい社会をつくるために。

僕を支えてくれるもの

春日部市立武里中学校 3年
天野 馨優さん

今年の7月、僕は人生で初めて修学旅行に出かけた。修学旅行の準備の一つとして、病院を受診した。僕は、喘息の持病を持っている。咳が出始めた数時間後には、呼吸することが苦しくなってしまうほど、悪化が早い。修学旅行中、何もないことを願いながら、病院に行き薬をもらった。その時だ。「こども医療費支払い不要医療機関」の紙が、目に入った。いつも診察代も薬代も支払わずに病院を後にできることに、初めて違和感を覚えた。

僕の医療費は誰が払っているのだろう。調べてみると、税金が財源になっていることが分かった。医療費は無料なのではなく、代わりに払ってくれている人がいたのだ。生まれてから15年間、持病の喘息だけではなく、風邪をひいた時も、骨折をした時も、無料で医療機関にかかることができた。母子手帳の枠からはみ出るほど受けた予防接種のほとんどは無料、いや税金で賄われていることを知った。全世界で猛威を奮ったコロナウイルスの予防接種も、もちろん税金で受けることができた。他の国ではどうなのだろう。ユネスコの情報によると、世界中には感染症を予防するための予防接種を受けられないために、尊い命が約150万人も失われているという。医療費が無料であることで安心して医療が受けられたり、予防接種によって命が守られたりすることに、気づかずに生きてきた自分が恥ずかしくなった。一生懸命働いている人達の税金によって、僕の命は守られていたのだ。

税金から受けている恩恵は、医療費だけでない。中学3年生の僕一人の教育費110万円以上を税金が負担してくれていることも知った。教科書が無償なだけではない。学習に集中できるように、教室にはエアコンが設置されている。無償で貸与されているパソコンは、学習内容を効率よく理解したり、一人ひとりに合った学習を進めたりする際に役立っている。これらすべては、税金で賄われているのだ。税金は、「取られてしまう嫌なもの」ではなく、「支えてくれるありがたいもの」であることに、今更ながら気がついた僕がいた。

中学生の僕は、税金の助けを受けながら生きている。税金という仕組みがあることで、平等に医療や教育を受けることができることは、当たり前のことではない。懸命に働いて税金を納め、また税金の仕組みをよりよいものに变化させながら、税金の仕組みを支えてきた、祖父母や父母の世代、今の社会を支えてくれる人達に感謝をしたい。そして、僕達の世代が税金という仕組みが崩れないように守っていくことも大きな使命だと思う。自分のことだけを考えて、悪質な手口で税金を払わない人がいるというのは、悲しい。僕は、世の中のために自分の知識や技能を活かし、税金を払える人になりたい。そのために、今は税金のありがたさを常に忘れずに、その力を借りて全力で学業に励もうと思う。

一人千円で未来へ投資

春日部共栄中学校 3年
宮田 夏帆さん

「森林環境税」あなたはこの言葉を一度でも耳にしたことはあるだろうか。森林環境税とは、来年2024年度から一人千円が徴収されることになる、新しい国税のことだ。近年、森林破壊は急激に進んでおり、一年に1,500万ヘクタールもの森が消えていっているという。そこで私はこの「森林環境税」についてくわしく調べ、私たちが今後払うことになるこの税金がどのように使われるのか知ることにした。

まずこの「森林環境税」は先程も言ったように、2024年度から、国内に住所のある個人に対して課税される国税であり、市町村において一人年額千円が徴収されるらしい。そしてその税收の全額が、国によって森林環境譲与税、として都道府県・市町村に譲与される。この「一人千円」という額。私の家は5人家族なので、1年で5千円徴収されることになる。まだ中学生の私にとっては千円は少し大きい額のように感じてしまった。そこで私たちが出した千円はいったい何に使われるのか調べてみた。

森林環境譲与税の使い道は法律で各自治体ごとに公表しなければいけないことが決まっている。私は自分の住んでいる野田市の森林環境譲与税が何に使われているか気になったので調べてみた。令和3年度は森林を管理するためのクラウドシステム、千葉県森林経営管理協議会の負担金、森林の整備やその促進に向けた積立金、などに使われていることが分かった。野田市には比較的緑が多いため、クラウドシステム

を使用し、森林の状況を把握するなど、私たちの街にある森林を守るためには、この千円が必要になってくることが分かった。私はこの野田市の自然がとても好きなので、私たちの税金で自然が守られるのはとても嬉しい。森林環境税への千円を高いと感じなくなった。

しかし、日本には私が最初抱いていたように、千円を高いと感じる人も多いのではないだろうか。実際に、グーグルで「森林環境税」と検索すると、もちろん賛成派の意見を書いた記事もあれば、タイトルにネガティブなワードが入っている記事もあった。しかし、そのような反対意見を持っている人は、この税にかけられる千円を未来への投資だと思ってほしい。このまま何もせず、森林が破壊され続ければ、地球温暖化が進み、地球に住めなくなるかもしれない。私たちの当り前は思っているより一瞬で壊れる。ゆえにこれは未来への投資なのだと私は考える。今と同じ生活をこの地球でし続けるための投資だ。

森林環境税が徴収され始めるのは2024年度、つまりもう来年にせまっている。この日本にある森林を今よりもっと良く、多くしていくために、この森林環境税が使われれば良いと思う。今している対策よりもお金をかけ、私たちが投資をしてよかったと思える未来の日本をつくってほしいと思う。

社会は回る一税の環による助け合い

久喜市立栗橋西中学校 3年
後藤 陽希さん

世の中には、様々な形の税がある。が、今日まで税など、意識したこともなかった。数多くある税の内、名前を知っているものも一握りだろう。だがしかし、この作文を書くにあたり、税について、深く考えてみた。すると、日本国で暮らす一員としてしっかりと税の循環に関わっていることが分かった。

僕は、中学生として、月から金曜まで勉学に励んでいる。ではそこで使う教科書はなぜ無償なのか。そもそも学校のインフラ設備のお金はどこから捻出しているのか。その問いの答えが税である。「日本の未来を担う」という文言の通り、これからの活躍が期待されるからこそ税から負担されている訳だが、このように義務教育を受けていることが、税の循環の中にいることに繋がるのだ。

これまで税から歳出されている場合を考えてきたが、僕たち未成年であっても、なんらかの形で税は徴収されている。「納税義務に年齢のくくりはない」とあった。

身近な例で考えてみる。スーパーなどで、500円のシャーペンを買う。ところが、支払うのは500と50円。そう、この追加された50円こそが税だ。「消費税」といって、提供された商品やサービスに対してかかる税だ。今はこれが10パーセント。だからプラス 50円となっている。このように日常の中で、気付かないレベルで徴収されている。その小さな税の積み重ねが、先程の学校運営などを支えている。そう、日本国の一員として、生活を営むことが、税の循環の中にいるということなのだ。

税がこれほどまで生活と密接に関わる背景には、日本の社会の仕組みがある。福利厚生を保障する制度、防衛費、街中のゴミ収集などあらゆる分野にて税が必要となっている。公務員の方の給料もだ。税というシステムが国の礎を築いていることは明白である。

思えば、遥か1,000年以上の昔から、税によって国家は繁栄してきた。現金でなくとも収穫した農作物などを納めていた。それら全てに共通しているのは、「国に捧げる」という愛国の心ではないだろうか。いわば、国と民との信頼でもある。

ここまで考えを巡らせ、たどり着いた一つの結論が、税の循環は、国と人々の信頼関係に基づく、助け合うための輪である。だからこそ、年齢に関わらず、様々な社会福祉制度による恩恵を受け、身近なところから納税している。

日本国民なら誰でも税の環の中で生活し、助け合っている。ともすれば、最も重要なことは、一人ひとりが仕組みについて明確に理解し、不平、不満なく約1億2千万人が税による利を受けることだと思う。

税が回り社会が回る。その原則を崩さないようにするために、税について、深く学びたい。

春日部税務署長賞

私は今日も税と共に。

久喜市立鷺宮東中学校 3年
石川 春樹さん

乳幼児医療費助成制度というものがある。この制度は子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもにかかる医療費の一部負担金を県と市町村で助成する制度である。

喘息と卵アレルギー。一つ持っているだけでも治療に莫大なお金が必要な持病を、私は二つも持っている。学校を早退して病院に行くのは、昔から私はとにかく面倒だと思っていた。なぜ自分ばかりそんな面倒なことをしなければならないのか？早く家に帰ってゲームがしたい。幼い頃から、そんな事ばかり考えていた。

ある日、住んでいる街ではなく市外の病院を受診した際に、「来月、市役所に申請に行かなきゃ。」と言いながら、母がよくわからない資料を取り出し、何かを記入していることに気づく。母に市外の病院に通院した際には、一旦全額医療費を支払い、翌月に住んでいる市に申請することで、医療費が給付してもらえる仕組みになっていると教えられた。その時、私は初めてこの制度を知った。その日から、私は通院の際に母に愚痴を言うのをやめた。自分のために一緒に通院し、さらに手続きに関する面倒な作業をしてくれている母に通院が面倒だというのは幼いながらに恥ずかしいことだと理解したからだ。

だが今年、母が書類を書かなくなったことにふと気づいた。去年の秋から乳幼児医療費助成制度が変わったのだ。埼玉県内全域の医療機関で、窓口での支払いが不要になった。さらに、対象年齢が拡大し、満18歳まで医療費の一部を助成し

てもらえるようになったのである。

私の一番身近な税金の恩恵はこの制度であり、税金の重要性を教えてくれたのもこの制度だ。

幼い私にとって、税金とは大人だけに関係があるものだった。子どもには関係がないのだから、消費税を払う必要はないのではないかとすら思った。

しかしそんなことはなかった。私は税金という制度がなければ今までもこれからも、安心して治療を受けることはできない。もし、この国の税金によって動いているものにお金を全額支払う必要があるようになったらと思うとぞっとする。お金に余裕がなければ、病気にかかっても、犯罪にあっても、災害にあっても、病院で治療してもらうことを我慢しなければならないからだ。自分が今健康に生活ができているのは、この制度のおかげであり、税金のおかげなのだ。

私が大人になったら、より一層税金は身近になる。私は税金の支払いを面倒に思う気はないし、納税によって困っている人の生活環境を改善することに関われていることが喜ばしいと思える。

私は今日も、他愛のないことを母と話し、感謝の気持ちを持って税を学ぶ。

清潔な街のための大切な税金

春日部市立江戸川小中学校 9年
小笠原 芽郁さん

以前テレビのニュースでゴミ収集車の火災が取り上げられていた。ゴミ収集車は税金で購入している為、間違ったゴミの出し方には注意してほしいとのことだった。ゴミ収集車は、2トン車で5百万から6百万、4トン車だと8百万から1千万ぐらいになるそうだ。そのニュースを見て、ゴミ収集車の金額の高さにまず驚いた。そして、誰かのいいかげんなゴミの出し方で、そのお金が無駄になってしまうことに憤りをおぼえた。そのお金は税金で購入されていること、ゴミ収集自体も税金によって賄われていることを初めて知った。

近年モバイルバッテリーなどに使われるリチウムイオン電池が原因とみられる発火事故が、ゴミ収集車やゴミ処理施設で相次いでいるそうだ。リチウム電池を使った製品の多様化が背景にあるとみられ、火災で収集車や処理施設が破損し、修繕などにかかった被害額は100億円を超えたとする調査があるそうだ。そのほか多い順で加熱式たばこやコードレス掃除機、スマートフォンが続く。正しくゴミを分別して出すことは、働く作業員の余計な仕事も短縮できるので、余計な人件費、つまり余計な税金の削減にもつながる。私達一人ひとりがゴミ処理に対して正しい知識を持つことは税金の無駄遣いをなくす上で大切なことだと思った。

ゴミ処理は地方公共団体が担っており、地方税によって賄われているそうだ。私の町では春日部市の廃棄物対策課が担っている。私の家には廃棄物対策課が発行するゴミニケー

ションカレンダーが貼ってある。地方自治体によって決まりがあり、山形にある祖父母の家ではとても細かく分別しなければいけないそうだ。山形県はゴミの量が多く、ゴミの出し方も厳しいと聞いた。ゴミを減らすことは環境問題にも直結する。地方公共団体が地域の問題に真摯に向き合っている表れだと思った。

私達が清潔な環境で生活できているのはこのような家庭ゴミ回収はもちろん、公共道路・地域の清掃のおかげなのだとあらためて実感した。清潔さに欠けると、生活レベルだけでなく、健康や安全性も脅かされてしまう。私達の生活において税金の役割はとても大切なことだと思った。

今は大人が払ってくれている税金を1円でも無駄にしない為に、自分ができていることを考えてみた。レジ袋をもらわず、マイバックを使うことでゴミを減らす。ゴミの分別の正しい知識を身につける。一人ひとりの努力で無駄な税金の出費を防ぎ、清潔で安全な街にしていければ良いと思った。



埼玉県春日部県税事務所長賞

私と税

久喜市立鷺宮東中学校 3年
栗城 花凜さん

毎日学校へ行き、教科書を開いて勉強をする。そんな何気のない日々はどれ程税金に支えられているのだろうか。また、私たちはどれ程税金による負担をさせられているのだろうか。

私は先日、母に頼まれスーパーで買い物をした。その際にふとレシートを見ると商品や値段の下に消費税によって加算された金額が記されていた。私はその金額をみた時に、まずは驚きを感じた。なぜなら、その金額は、他の商品一つを買ってしまう程のものだったからだ。ただ私は、それらがどこに使われているのか今まで考えたこともなく、詳しくは知らない。そこで税が何に使われているのか調べてみることにした。

その結果、税は私たちの生活に欠かせないたくさんの物に使われていることが分かった。特に私に身近な物は、教科書や学校の校舎、また、毎日通っている道路などがあげられる。つまり、私が過ごしている日々は、税によって支えられ、税なしでは成り立たないのだということが分かった。

一方で私は税について少し疑問に感じたことがある。それは女性だけが生活必需品として購入する生理用品もその他の物と同率の10%の消費税がかけられていることだ。これは男女で国に納める税に差が生まれてしまっているということではないかと考えたのだ。生理用品は女性に絶対に必要な物であり、定期的に購入しなければならない。一方で、男性にとっては必要のない物で自分のために買うことは生涯を通して一度もないといいきれよう。これは一つの問題ではないかと思

う。女性は生理用品を購入することにより、日々男性より多くの税金を払うことになる。一日、一週間で見るとわずかな差かもしれない。しかし、それを一ヶ月、一年、又は一生を通してみてみるとどうだろうか。その差は膨大なものになってしまう。しかし、女性には必要な物で買わないという選択肢はとりたくはない。そのため、せめて他の物と同率の10%ではなく少しでもかける税率を低くできないのだろうかと思う。

以上のことから私は、今過ごしている日々は税金によって成り立ち、税は私にとっても必要不可欠なものであることが分かった。しかし、その一方で男女で税を納める金額に差が出てしまっているという問題もあることも分かった。将来私は様々な税に関する問題と直面するだろう。その際には今回のように税の大切さもきちんと理解した上で向きあえるようにしていきたい。

未来へと繋げる税金の使い方

春日部市立江戸川小中学校 9年
山田 歩実さん

去年、新型コロナウイルスに感染した。私と母、弟妹の4人が自宅から出られなくなった。激しく咳き込み、腹部が筋肉痛で辛い日々が続いた。それでも咳は治まるどころか更に酷くなる。想像以上の苦しさで、悲観的になっていた。そんな中で、電話がかかってきた。保健所からだ。それから毎日、どういふ症状なのか確認の電話がかかってくるようになった。聞こえてくる声は優しくて安心できた。薬や食料も貰えて、コロナ感染者に対する人々の理解と優しさが社会に広がりつつあることも実感した。そして10日後には学校に行けるようになるまで回復した。

テレビで再びコロナ感染者が増えていることを知ったとき、あの時のコロナ治療費はどれくらいかかったのか気になり、母に尋ねてみた。母からの回答は、「新型コロナウイルスの医療費は、公費負担のおかげで全くお金はかからなかった」という驚くものだった。母は当時を振り返り、「コロナ感染者に対してのシステムが出来上がっていたのに感心した。そこまで達成するために試行錯誤したことが感じられ、未知のウイルスとの戦いで、みんなが安心して治療できるようになったのは税金のおかげだ。」と言っていた。

私は税金のことに興味を持ち、今の日本の税金のあり方について調べてみた。納税は国民の義務であり、納めることばかりに意識が向きがちだが、集めた税金がどのように使われ

ているのか知ること大切だ。税金は国民が安全で快適に暮らすために、至る所に使われている。病院では、医療費を全額負担せずに済んでいる。水を毎日使用できるのは、上下水道の整備がされているからだ。学校では無料で勉強することが出来る。どれも当たり前のように感じていたけれど、私たちの暮らしは税金に支えられていることを知り、とても恵まれていることに気づいた。しかし、これからの日本では少子高齢化が急速に進み、年金や医療の負担が上昇を続け、将来の世代に大きな負担を残すことになると言われている。こうした厳しい現状を踏まえ、豊かで安心して暮らせるための保障制度や、日本の未来のために役立ち、将来にわたり保ち続けることができるような税金の使い方が必要になる。だからこそ、私たち中学生も勉強しなければならない。勉強することは自分の未来のため、日本のためでもあるのだ。こうして、現在そして未来の日本のあり方を決め、政治に関与してもらうために選挙権年齢が満18歳に引き下げられた。それでも、少子高齢化社会で若者の人口が少なく、更には若者の投票率が低いこと意見が届かず、政治に十分反映されなくなっているのが今の現状だ。

豊かで安心して暮らせる未来のためには、税金の負担と、使い道の関係について、私たち一人ひとりが考えることが大切だと思う。

関東信越税理士会春日部支部長賞

税で成り立つ約束の場所

春日部市立春日部南中学校 3年
辻上 さくらさん

「今日も、いつもの所ね。」もうどこに集合するか言わなくても分かる。当時の私には、第二の家のような場所だった。

小学校低学年の頃の私は、放課後になると毎日友達と集まる約束の場所があった。そこは、公民館という場所である。その頃の私にとってその場所は、友達みんなで笑いあったり、お菓子パーティーしたり、ときには宿題を教えあったりする放課後にやってくる幸せな空間であった。

そんなある日。宿題の後のごほうびでお菓子を買に行こうということになり、近くのスーパーへみんなで向かった。私は、その時持っていたお金を超えてしまわないよう頭の中でなん回も暗算をしてレジへ向かった。すると、計算したよりもなん十円か高い値段だった。私は20円ほどたりなかったため、ひとつお菓子をキャンセルした。公民館へもどりみんなで楽しんだ後も、私は疑問が残っていた。家に帰り母にそのことを話すと、「消費税」だと言われた。当時の私は、初めて聞くこの言葉の意味を正しく、深く知り理解することは難しかった。

中学3年生。受験生になった今の私が思うこと。小学校を卒業し、今日もこうして学べる。このすべては普通のことではなく、みんなが納めた税によって送ることができる日々だということ。

今年私は、久しぶりに公民館に訪れた。今になって思うのだ。何気ない毎日の中で払っているお金。その中に紛れる「税」というもの。このお金によって得られる、普通の日常。私達の

すぐ近く。至る所に使われている「税。」それによって成り立つ私の約束の場所。久しぶりに訪れたこの場所は、何も変わらずまるであの時のまま時間が止まっているようだった。あの頃の私がよく使っていたイスに腰を掛ける。目の前には、あの頃よりも少し大人びた友達が「受験頑張ろうね。」と言いながら教材を広げている。これからも変わらない毎日を支えてくれている「税」を納め、思い出に満ちたこの場所を守っていききたい。



世界のだれかのために

白岡市立南中学校 3年
鈴木 優乃さん

税金は近いようで遠いものだと感じる。お店で何かを買うときに消費税を払っているが何に使われているのか知らないからだ。だから税金について調べてみることにした。調べてみると健康や生活を守る社会保障費や道路や住宅などを整備する公共事業費、国債の返済や利子の国債費などに使われていることが分かった。その中で海外援助などの経済協力費というものがあり興味を持った。多くの税金が国のために使われているが、この税金には海外が関係しているようだ。経済協力費についてくわしく調べることにした。

経済協力費とは開発途上国の経済的、社会的開発や福祉の向上を目的とし、技術協力や資金提供を行う、政府開発援助という活動で使われているそうだ。国の0.5%、およそ5,123億円分経済協力費に使われていることも分かった。世界には多くの人々が貧困や飢餓で苦しんでいる現状はニュースで見たことがある。その人々のために国同士が協力して援助していることを知り、とてもおどろき喜ばしく思った。私達が支払っている税金が国を超えて世界の苦しんでいる人達の役に少しでも立てているのだと思うとなんだか嬉しくなった。しかし、多くの税金を自分の国ではなく他の国に使うことに批判も多くあるようだ。国内は増税などで負担が大きいからだ。この意見には納得できる部分もある。だが、経済協力の活動は先程説明した開発途上国やその国に暮らす人々を助けることだけ、ではない。世界での日本の地位向上や、輸入物資供給の安定、

国際協力の推進などにおいてもとても重要な活動だ。そのため結果的に日本にもメリットのある活動なのだ。しかも東日本大震災などの災害の時、他の国の人達が沢山支援してくれた。遠く離れた人達が日本のために支援してくれたのにも関わらず、自分の国だけに税金を使いたいという考えは自己中心的でよくない考えだと思う。

税金は日本だけでなく世界をよくするためにも大切なことなのだと感じた。私が納めている税はまだ消費税くらいだと思う。この税金が世界の苦しんでいるだれかのために役立っていると思うと経済協力費はとても重要だし素晴らしいものだと思う。この作文で学んだことを忘れず、しっかりと税金を納めていけるようにしたい。



作り、繋げて

春日部市立春日部中学校 3年
庭山 琴海さん

納税という言葉を知って、私達はどうしても「納めるもの」として認識してしまう。私も実際、税金について特別講座で習うまでは、納税には「納める」という印象が強かった。しかし、実際のところはどうか。納税によって私達はあらゆる面で助けてもらっている。しかし、納税についてそこまで知らない人たちは助けてもらっていることを知らない。そこで私は、納税によるサービスでお願いしたいことがある。

それは、もっと様々なサービスが実現してほしいことだ。私達が実現してほしいと思っているサービスは主に二つある。一つ目は、子育てに関する多額の支援金についてだ。近年、我が国では少子高齢化が進んでいる。これは高齢者の平均寿命が上がってきていること、子供の出生率が減少していることが大きく関係している。私は少子高齢化と税金の使い道には強い結びつきがあると思う。高齢化の理由は平均寿命の伸びが原因だと述べた。では、なぜ平均寿命が伸びてきたのか。それはつまり、日本の医療の充実度が高いからだ。日本の医療費は税金によって大きく賄われている。体調が悪くなって抵抗なく病院に行けるのは、健康を維持することに大きくつながる。また、介護費、年金の一部が日本の税金で賄われている。このように、高齢者は日本の税金によって支えられている。一方で子育てに関しては、日本はあまりこれといったサービスを提供していない。これは少子化に深く関わってくる原因になると思う。近年の若者は「子供を産みたくない」と考えている人

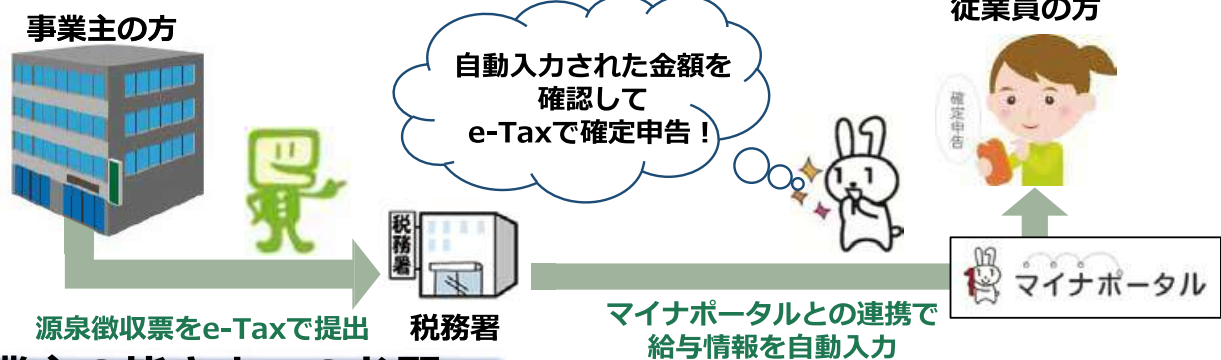
が多い。私はなぜ産みたくないのかネットで調べてみた。様々な理由があったが、今回私が着目したのは「育てる自信がない」「経済的不安がある」という二つの理由だ。子供を育てるのにはお金がかかる。逆に言ってしまうと、「経済的不安」さえ取り除いてしまえば、子供を産む人が増加する可能性があるのだ。つまりみんながより多くの税を納税することで日本の課題点が大きく改善されるかもしれない。二つ目は上級学校の進学サポートだ。現在でも奨学金のサポートは実現している。しかし、世の中には上級学校に行きたくても行けない人は沢山いる。そのような「学びたくても学べない人」は日本だけでもそこそこいるのではないかな。学ぶことで才能が大きく開花する人もいるかもしれない。そんな人材を育成するためにも納税は必要なのかもしれない。

私は、納税とは日本の維持可能な明るい未来を作り、繋げることだと思う。税金は、日々の生活のあらゆる面で私達を助けてくれている。今の私達、未来の私達、そしてさらに未来の私達の子孫のために地道に納税をしていきたい。「塵も積もれば山となる」ということわざがある。消費税などの身近な税をしっかりと払って、沢山の未来の幸せをつくっていききたい。

事業主の皆さまへ！ 給与所得の源泉徴収票を 従業員の方の e-Taxで提出すると… 確定申告がさらに簡単に！！

事業主の皆さまが、
給与所得の源泉徴収票をe-Taxで提出することで、
従業員の方が、所得税の確定申告書を作成する際、
給与所得の情報が自動で入力されるようになります！

※令和6年1月以降に提出する給与所得の源泉徴収票（令和5年分以後の年分）が対象です。
※従業員の方が令和6年2月上旬以降に国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で
確定申告書を作成する際にご利用になれます。



事業主の皆さまへのお願い

Point ①

事業主の皆さまからe-Taxで提出された給与の源泉徴収票が自動入力の対象となります。

Point ②

税務署への給与の源泉徴収票の提出範囲は、年間の給与等の支払金額が500万円を超えるもの等ですが、500万円以下の給与に係る源泉徴収票であっても、e-Taxで提出した場合は、自動入力の対象となります。

Point ③

給与所得の情報を正しく連携するため、給与所得の源泉徴収票に記載する、従業員の方のマイナンバー、氏名（カナ含む）、住所、生年月日等については、記載誤りや不足・不備が無いようご注意ください。

！ 詳しい内容は、国税庁ホームページの特設ページをご覧ください。➡



e-Taxソフト（WEB版）で源泉徴収票を提出できます！

！ e-Taxソフト（WEB版）の利用方法について、詳しくは裏面をご覧ください。

e-Taxソフト（WEB版）のご利用方法

STEP ① e-Taxソフト（WEB版）へアクセス

- ① e-Taxホームページにアクセス
(<https://www.e-tax.nta.go.jp>)
- ② 右上部「各ソフト・コーナー」をクリック
- ③ 「e-Taxソフト（WEB版）」をクリック
または

e-tax web ログイン



STEP ② 事前準備

e-Taxを初めて利用する方は、①から開始届出書の作成・提出を行ってください。

既にe-Taxをご利用の方は、②からログインします。

③で利用者情報の登録等を行い、④で給与所得の源泉徴収票の作成を行います（e-Taxソフト（WEB版）を初めて利用する場合のみ、③の手続が必要です。）。

※事前準備の案内動画はこちら



STEP ③ 源泉徴収票の作成・提出

【1件別に入力する】

源泉徴収票を1件別に入力する場合は、①をクリックします。

【CSVファイルを読み込む】

表計算ソフトや会計ソフトで作成したCSVファイルを読み込む場合は、②をクリックします。



！ 源泉徴収票が所定の件数を超える場合は、分割して送信してください。

源泉徴収票の作成後に、法定調書合計表を作成したら、後は、電子証明書で電子署名を付与して送信！

！ 電子証明書は、個人の事業主の方はマイナンバーカードをご利用いただけます。法人の場合は、法人の電子証明書が必要ですが、代表者の方のマイナンバーカードもご利用いただけます。

eLTAXで市区町村と税務署へ一括して作成・送信も可

市区町村に提出する給与支払報告書をeLTAXの作成ソフトPCdesk（対応税務ソフトを含みます。）を利用して作成・提出している場合は、税務署に提出する源泉徴収票のデータも同時に作成し、一括して送信することができます。

(eLTAXホームページ)



第9回
令和5年度

公益社団法人 春日部法人会 女性部会

作品集

税に絵はがきコンクール

主催：公益社団法人 春日部法人会
公益財団法人 全国法人会総連合
後援：国税庁、春日部税務署管内租税教育推進協議会、
春日部市教育委員会・さいたま市教育委員会
久喜市教育委員会・蓮田市教育委員会・幸手市教育委員会
宮代町教育委員会・白岡市教育委員会・杉戸町教育委員会

税に関する絵はがきコンクールは、「税の大切さ」や「税の果たす役割」について学んでいただき、その知識や感想を「絵はがき」に表現することで、税に対する理解をより深めることを目的に、全国の法人会女性部会が実施する事業です。

春日部法人会では、各教育委員会のご協力をいただき9年目の実施となりました。今年度は開催時期の変更を行いました。春日部税務署管内公立小学校91校中56校、2,559人と、昨年度よりは少し減少したものの、たくさんの応募をいただくことができました。

子供たちが「税」について学んで得た自らの考えを、言葉や構図を工夫し、通信手段の「はがき」に表現するという難しい取り組みですが、どの作品も子どもらしい発想にあふれた素晴らしい作品でした。

このコンクールが、子どもたちの未来に役立つことを期待しています。

※その他の記載事項は昨年に準じます。
※入賞作品は春日部法人会ホームページからご覧いただけます。

第9回 絵はがきコンクール入賞者		
租税教育推進協議会会長賞	春日部市立南桜井小学校	赤妻 太雅
白岡市立白岡東小学校 馬場 心春	春日部市立幸松小学校	齋藤 蒼介
春日部税務署署長賞	久喜市立本町小学校	砂川 咲
杉戸町立杉戸小学校 杉山 采杷	杉戸町立杉戸第二小学校	津田 幸来
春日部法人会会長賞	佳作	
さいたま市立岩槻小学校 花田 柚葉	春日部市立緑小学校	中田 陽
春日部法人会女性部会長賞	久喜市立桜田小学校	伊藤 凧沙
久喜市立栗橋小学校 斎藤 絆	蓮田市立蓮田北小学校	五十嵐祐弥
春日部市教育委員会教育長賞	蓮田市立平野小学校	中田 小春
春日部市立内牧小学校 佐藤 伶海	久喜市立小林小学校	進藤 日向
さいたま市教育委員会教育長賞	優秀協力校	
さいたま市立柏崎小学校 覺張 暁子	久喜市立久喜北小学校	
久喜市教育委員会教育長賞	幸手市立幸手小学校	
久喜市立栗橋南小学校 長谷川美恋	幸手市立八代小学校	
蓮田市教育委員会教育長賞		
蓮田市立平野小学校 福岡こころ		
幸手市教育委員会教育長賞		
幸手市立さかえ小学校 羽生田百葉		
宮代町教育委員会教育長賞		
宮代町立東小学校 関根 龍輝		
白岡市教育委員会教育長賞		
白岡市立篠津小学校 土谷 彩乃		
杉戸町教育委員会教育長賞		
杉戸町立杉戸小学校 山岸 芙希		
審査員特別賞		

56校
2,559名が
参加

選考された
入賞作品を
紹介します



租税教育推進協議会会長賞
白岡市立白岡東小学校
馬場 心春さん



春日部税務署署長賞
杉戸町立杉戸小学校
杉山 采杷さん



春日部法人会会長賞
さいたま市立岩槻小学校
花田 柚葉さん



春日部法人会女性部会長賞
久喜市立栗橋小学校
斎藤 絆さん





春日部市教育委員会教育長賞
春日部市立内牧小学校
佐藤 伶海さん



さいたま市教育委員会教育長賞
さいたま市立柏崎小学校
覺張 暁子さん



久喜市教育委員会教育長賞
久喜市立栗橋南小学校
長谷川 美恋さん



蓮田市教育委員会教育長賞
蓮田市立平野小学校
福岡 ころろさん



幸手市教育委員会教育長賞
幸手市立さかえ小学校
羽生田 百葉さん



宮代町教育委員会教育長賞
宮代町立東小学校
関根 龍輝さん



白岡町教育委員会教育長賞
白岡市立篠津小学校
土谷 彩乃さん



杉戸町教育委員会教育長賞
杉戸町立杉戸小学校
山岸 美希さん



審査員特別賞
春日部市立南桜井小学校
赤妻 太雅さん



審査員特別賞
春日部市立幸松小学校
齋藤 蒼介さん



審査員特別賞
久喜市立本町小学校
砂川 咲さん



審査員特別賞
杉戸町立杉戸第二小学校
津田 幸来さん



佳作
蓮田市立平野小学校
中田 小春さん



佳作
春日部市立緑小学校
中田 陽さん



佳作
久喜市立桜田小学校
伊藤 風沙さん



佳作
蓮田市立蓮田北小学校
五十嵐 祐弥さん



佳作
久喜市立小林小学校
進藤 日向さん



第13回 会員交流ゴルフ大会

10月26日(木) 於 フレンドシップカントリークラブ



毎年参加の女性たち

前日雨が降ったとは思えないほど澄み切った空の下、第13回会員交流ゴルフ大会を開催しました。

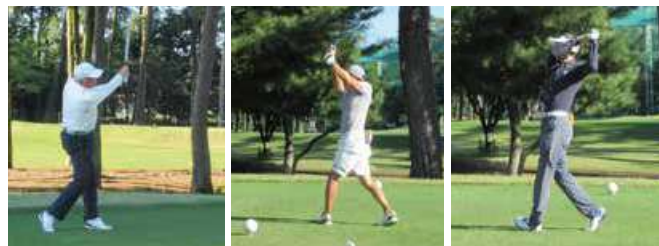
会員相互の交流と新規会員勧誘を目的に開催している大会は今年で第13回となります。

コロナウイルスが感染症法の2類から5類へ移行したに伴い、プレー後のパーティは中止としつつも、全18ホールのスコアで順位付けをさせていただく形式での開催となりました。

10支部から24組87名の皆さんに参加いただきました。

- **優勝**：菖蒲支部 小林照央さん
 - **準優勝**：久喜支部 尾崎彰吾さん
 - **ベストグロ賞 男子**：鷺宮支部 渡邊 真さん
 - **ベストグロ賞 女子**：昨年に引き続き
春日部支部 館浦みちるさん
 - **ドラコン賞OUT**：鷺宮支部 渡邊 真さん
 - **ドラコン賞 IN**：久喜支部 尾崎彰吾さん
 - **ニアピン賞OUT**：該当なし
 - **ニアピン賞 IN**：宮代支部 古谷 久さん
- が受賞されました。

税の啓発活動や社会貢献活動と共に、会員相互の交流・親睦の機会は、広域にわたり、さまざまな業種の方々が会員となっている春日部法人会ならではの活動です。皆様、大変お疲れ様でした。



春日部支部田口さん

ドラコン準優勝尾崎さん

青年部会柴木さん



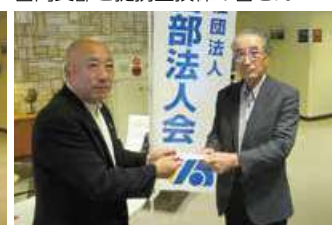
宮田委員長と幸手支部の皆さん



白岡支部と提携生損保の皆さん



ドラコンベストグロ渡邊さん



ニアピン獲得古谷さん

支部だより

春日部支部

春日部コミュニティ夏まつりを開催 令和5年8月26日(土)



春日部コミュニティ夏まつりが庄和総合公園で開催されました。4年ぶりの開催となるため、どうなることかと心配されましたが、多くの市民の皆さんに参加いただき、大変な賑わいを見せていました。夜8時から若干涼しさを感じさせる中、大きな花火を打ち上げ、来場者の皆さんから歓声が上がっていました。



春日部商工まつりを開催

令和5年10月14日(土)～15日(日)

春日部商工まつりも4年ぶりに大沼運動公園で開催されました。土曜日は晴天に恵まりましたが、日曜日は冷たい雨の中の開催となりました。

春日部支部もこのまつりに参加し、「花と緑いっぱい運動」や税の普及啓発を目的として、花の種の配布、チューリップの球根のつかみ取りによるチャリティ募金などを行いました。

春日部税務署からは土曜日に山田副署長がお見えになり、日曜日の雨の中、田中署長、諏訪副署長、見田総務課長にもご出席いただきました。



庄和地域産業祭を開催

令和5年11月5日(日)

なかなか秋の涼しさを感じられない毎日が続く中、庄和地域産業祭に法人会も4年ぶりに参加しました。春日部税務署からも山田副署長が来場されました。

旧庄和支部での恒例のお祭りでは、花のバザー、花の種の配布、税資料の配布による税の普及啓発等を行いました。



「現場監督とは」

宮代支部

株式会社 野口建設
代表取締役 中島 勘寿



私の会社は土木工事の請負会社です。土木工事は、簡単に言えば建物以外の工事で道路や河川、上下水道やガス工事等のことです。社員の職種は主に2種あり作業員と監督です。作業員は、字のごとく現場で作業を行う人です。監督の業務内容は世間ではあまり理解されていないようで、作業員の頭の人と思われたりもしますが、作業を行う人とは別で現場を管理監督する人です。

現場の管理は、よく安全・品質・出来形・工程の4つが挙げられます。安全は法令等を遵守し現場の良好な労働安全衛生環境を確保することです。現場が路上の場合には第三者への配慮まで行います。品質は、工学的知識をもとに適

切な管理を行います。アスファルト合材の温度管理やコンクリートの養生管理といったところでしょうか。出来形(できがた)という言葉は聞きなれないでしょうが、要するに寸法の管理です。道路の高さの管理をミリ単位で行っていると話すとよく驚かれます。測量機器を使います。最後に工程ですが、工事開始から完成までのスケジュール管理のことです。自分で組立て工程表を書き随時監視します。このほか原価管理もあります。工事に一体いくらかかるのか、儲けはどれくらいなのか。またまた施主や協力会社との打ち合わせや交渉、CAD図面や書類作成など他にも業務は多岐にわたります。このように多方面に能力が要求される職種で、小さな現場でも一人でやると結構な業務量なのです。

株式会社野口建設

住所：南埼玉郡宮代町姫宮359
電話：0480-34-3428
FAX：0480-34-0694
URL：<http://www.noguchi-construction.co.jp/>



「一期一会」

蓮田支部

株式会社 魚庄
代表取締役 飯野 信一



鰻屋の五代目に生まれ大学卒業後、調理師専門学校に行き海外で生活をしてみたいと思い、親の了承を得てワーキングホリデービザを使いオーストラリアに行きました。現地では仕事をしながら、英語の勉強や日本との生活、文化の違いなどを学び日本に帰って来ました。25歳で店に入り修行をしつつ、商工会等地元の有志の会に参加するようになりました。

35歳になり店の業務に慣れてきた頃、鰻問屋の社長のお誘いで台湾の鰻事情を視察に行きました。アテンドは問屋の知り合いの呉さんという方がしてくれました。呉さんは、台湾の鰻を集め日本に輸出する仕事を生業にしています。それから何度か台湾に行く機会があり、その度に呉さんと会い親交を深めて行きました。ある日、呉さんから「一緒に台湾で鰻屋をやらないか？」という話がきました。「ワタシは鰻を集められるけど、飲食店のノウハウが無い」私も海外生活の経験から、海外に出店したいという思いが

ありました。代表取締役の父親、呉さん、従業員、家族、と何度も話し合い、38歳の時、台湾に出店する事が出来ました。

親日で知られる台湾でもやはり外国。法律、労働環境、食文化、ライフスタイルなどの違いがあります。そのような中でも呉社長と、私の共通認識は、日本流のおもてなし、調理のやり方、味は、変えない。その信念の下、経営を続け今年で7年目に入りました。当初は味、人間関係等、色々問題がありましたが、今では台北ミシェランガイドブックに星無しですが掲載される所まで来ました。これにおらず日々精進していきたいと思っています。

最後になりますが、2年前に代表者変更して45歳になります。小さい頃から祖父、祖母と暮らして「長男は家を継ぐものだ」という刷り込みもありましたが、継いでも良いと思える会社を作ってくれたのは父親です。私も子供が3人います。子供たちが継ぎたいと思える会社を目指しつつ、これまで育ててくれた蓮田に地域貢献という形で恩返しをして参ります。



写真は台湾店



URL：<https://unagiuosho.co.jp/>

新入会員ご紹介

(令和5年10月1日～令和5年11月30日新入会員)

◎春日部支部	株式会社 T-ark	春日部市豊野町1-2-13	建設業
	I.A Imaging 合同会社	春日部市道口蛭田136-1 ルネ春日部3-302	ソフトウェア開発業
	秋山総合防災株式会社	春日部市西宝珠花692-4	消防設備施設業
	株式会社木曽路 春日部店	春日部市豊町3-1-7	飲食業
	株式会社AKH	春日部市備後東5-12-33 メゾンドキャッスル102号	建築工事業
	合同会社らいふ	春日部市金崎987-12	介護サービス事業
	有限会社ケイツーコーポレーション	越谷市下間久里977-14	飲食業
	合同会社DIA美容	春日部市中央7-1-1 ピュアル1 1F A号	美容業
ほか正会員6件 賛助法人2件 賛助個人1件			
◎岩槻支部	株式会社岡電設	さいたま市岩槻区城南4-7-61	電気工事
	雅工株式会社	さいたま市岩槻区飯塚477-2	大工工事業
	株式会社LIBERTA	さいたま市岩槻区馬込948-9	中古車販売業
	株式会社風間商事	さいたま市岩槻区真福寺69-2	再生資源卸売
◎久喜支部	株式会社リプロモデル	久喜市吉羽181-9 TKビル	サービス業
	ホンダ工務店株式会社	久喜市江面1403-24	建設業
ほか正会員1件			
◎蓮田支部	正会員1件 賛助法人1件		
◎幸手支部	株式会社山本地所	幸手市上高野1909	不動産業
	ほか正会員1件		
◎菖蒲支部	正会員1件		
◎杉戸支部	トキワテクノ株式会社	杉戸町下高野403-16	電気・通信工事

県税からのお知らせ

給与支払報告書・源泉徴収票の提出は「eLTAX(エルタックス)」で!!

給与等の支払をする事業者の方は、受給者の方がお住まいの市区町村に支払報告書を提出するほか、記載内容がほぼ同一の源泉徴収票を事業者の方の所轄税務署にも提出する必要があります。「eLTAX(エルタックス)」を利用すれば、市区町村に提出する給与等の支払報告書の電子申告用のデータを作成する際、税務署に提出が必要な源泉徴収票の電子申告(e-Tax)用のデータも同時に作成し、一括して「eLTAX(エルタックス)」で一元的に送信することができます。

また、地方税共通納税システムを使えば、地方税の納税を地方公共団体や金融機関の窓口に出向くことなく、オフィスや自宅に居ながらにして、パソコンからインターネットを通じて簡単に行うことができます。すべての地方公共団体に対して電子納税ができ、複数の地方公共団体に対して一度の操作で電子納税が可能です。

ますます便利になったシステム「eLTAX」を是非ご利用ください。利用開始手続きなど詳しくは、eLTAXホームページ(<https://www.eltax.lta.go.jp/>)をご覧ください。

お問合せ：県税務課(TEL：048・830・2651)

法人会の基本的指針

法人会は
よき経営者を目指すもの、団体として
会員の積極的な自己啓蒙を
納税意識の向上と
企業経営および社会の
健全な発展に貢献します
法人会のキャッチフレーズ
めざまし 企業の繁栄と社会の貢献(法人会)

～ 全国法人会総連合 ～

感染症とリスクマネジメント

ようやく2類から5類に移行され、何となく収束したかに見える新型コロナウイルス感染症。私は医学の専門家ではありませんが、少し無防備になってきている感じがします。感染症として5類になったからといって、ウイルスが消えた訳ではありません。最近のはしかの流行、インフルエンザの猛威などは身近な参考例でしょう。

今やこういった感染症への対策は、企業のリスクマネジメントとして捉えられています。

何故ならば、感染症によって企業経営を危うくするような事態はどこででも起きているからです。

例えば、企業内において感染症が発生すれば、少なくとも業務は一時ストップもしくは減速せざるを得ません。コロナ禍での多くの事例が物語っています。そうなった場合を想定して、いかに準備しておくのか、どう手を打つのかなどが具体的なリスク対策となります。

その際の判断は、①リスクをどう回避するのか、②回避出来ない場合はどう受け止めるのか、③リスクをどう移転するのか、などのリスクマネジメントの基本的対応です。

難しそうに聞こえますが、やることはごく基本的なことです。

例えば、帰社時の手洗いの励行、社内でも必要に応じたマスクの着用、既に忘れ去られた感のある「3密を避ける」などは、上記の三つの判断基準を網羅している対策です。要は忘れがちになっている基本的なことを継続することがリスク対策においては重要

なのです。

医学が進歩してるからそこまで神経質にならなくてもと楽観視する声も聞こえてきます。

しかし、人類の歴史は感染症との戦いの歴史であると言われるように、この先どんな感染症が発生するかは誰も予測がつかないことと思います。

もしこの先新たな感染症が、コロナの何倍、いや何十倍もの感染力を持つような強烈なものが出てきた場合、果たして医学が追いつくのでしょうか。医学の進歩を疑うわけじゃありませんが、将来に向けてのあらゆる面でのリスク対策は、企業経営においてますます要求されるのではないのでしょうか。

企業を取り巻くリスクには、「予測可能なリスク」と「予測不可能なリスク」があります。今回の新型コロナウイルス感染症は、大陸での発生を察知していたことからすれば予測可能だったと言えるでしょう。予測可能なリスクへの対応、特別なことを想定しがちですが、まずは基本を中心に行動することが大切だと言えます。

著者プロフィール：Office SHIMADU 代表 島津 悟 氏

大同生命提携講師・PHPビジネスコーチ・ファイナンシャルプランナー・年金プランナー・春日部法人会会員。新潟県出身。大同生命支社長を経て研修部門。平成24年、同社退職を機に研修講師として独立。同社職員や管理者の育成に携わる。また、全国の法人会・納税協会の経営者セミナー、税理士会向けのセミナーで活躍中。



法人会は、様々な事業を行っていますが、大きな柱の一つが福利厚生制度で、全国法人会総連合では、この制度を「大同生命保険株式会社」「AIG 損害保険株式会社」「アフラック生命保険株式会社」の3社と提携しています。会員でなければ加入できない保障制度、集団取扱いによる割安な保険料、法人契約にすれば保険料が損金処理できる保険などがあります。詳しくは各社「法人会福利厚生制度推進員」におたずねください。

お問合せ先

大同生命保険株式会社 埼玉支社春日部営業所……………電話 048-734-3371
AIG 損害保険株式会社 埼玉支店……………電話 048-641-4050
アフラック生命保険株式会社 埼玉総合支社……………電話 048-645-0861

税金教室とN響トップメンバーによる 「夢いっぱい★コンサート」を今年も開催！

春日部法人会は、春日部税務署と協力しながら、税に関する普及啓発・研修事業を実施するほか、地域においても様々な社会貢献活動を実施しています。

令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大により、法人会でもさまざまな事業の中止を余儀なくされました。小学生向けの事業では、租税教室への講師派遣や、税に関する絵はがきコンクールなどを実施しましたが、学校を訪問した際に、「行事の中止や延期などで、思い出づくりがしにくい状況」という声を伺いました。

そこで春日部法人会では、令和3年度「租税教育と芸術文化鑑賞」と銘打ち、税金教室とN響トップメンバーによる音楽コンサートを企画し、春日部税務署管内の小学校に2か年続けて派遣しました。これまで令和3年度に13校、令和4年度に12校、令和5年度も11校と3か年で36校に派遣しました。

今年新型コロナウイルスは感染症法で2類から5類に移行しましたが、インフルエンザ等の感染症が流行しています。今年の応募校は35校にのぼり、このうち10校の小学校と1校の中学校に税金教室とNHK交響楽団の永峰高

志さんが率いるトップメンバーによる弦楽四重奏をプレゼントしました。

11月6日杉戸町立杉戸小学校、春日部市立小淵小学校を皮切りに、20日にさいたま市立柏崎小学校、22日の幸手市立上高野小学校、春日部市立粕壁小学校、27日の久喜市立砂原小学校、蓮田市立黒浜南小学校、29日の白岡市立南小学校、蓮田市立蓮田南小学校、30日には久喜市立江面小学校と最後に菖蒲文化会館アミーゴに菖蒲中学校の全校生徒を招いて全11校の小中学校にプレゼントしました。

税金教室も驚きや笑いたっぷりの楽しさで学べ、N響トップメンバー（バイオリン2、ヴィオラ、チェロ）による演奏曲は、モーツァルトのアイネクライネナハトムジーク、モンティのチャルダッシュ、クライスラーの愛の哀しみ、愛の喜び、ドヴォルザークのアメリカなどのほか、校歌、ジブリやディズニーの映画主題歌、葉加瀬太郎の情熱大陸など代表的なクラシックやポピュラー音楽まで、バラエティーに富んだものになりました。

校歌の演奏では児童・生徒や先生方も起立してみんなで合唱しました。

公演を終えた小中学校の皆さんからは、数多くの児童・生徒の感想が法人会に寄せられています。

●概要

管内の小中学校11校にN響トップメンバー4名を派遣し、無償で演奏会を実施
演奏前の、税の役割や仕組みを学ぶ「税金教室」では、クイズ形式を交えて実施

●経費

事業に要する経費は公益社団法人春日部法人会が支出



杉戸町立杉戸小学校



春日部市立小淵小学校



さいたま市立柏崎小学校



幸手市立上高野小学校



春日部市立粕壁小学校



久喜市立砂原小学校



蓮田市立黒浜南小学校



白岡市立南小学校



蓮田市立蓮田南小学校



久喜市立江面小学校



久喜市立菖蒲中学校 アミーゴにて

